

「地域観光マーケティング・ニューツーリズム地域セミナー」を開催

企画観光部

観光庁及び北陸信越運輸局では、「エコツーリズム」、「グリーンツーリズム」、「産業観光」等の新しい形態の旅行商品の創出と流通を促進するため、「ニューツーリズム創出・流通促進事業」を進めており、これまでモニターツアーなど3年間に渡り各実証事業を行ってきました。

また、創意工夫豊かな地域の企画商品の流通促進を目的とした「観光まちづくりコンサルティング事業」を18年度から実施をしてきたところです。

この度、北陸信越運輸局では、ニューツーリズムのモニターツアーなど実証実験で得られた成果を発表するとともに、着地型旅行商品の造成・販売等に関する具体的事例を通じて、地域振興や地域経済の活性化の一助とするため、「ニューツーリズム創出・流通に関する普及・啓発」と「地域観光マーケティング促進セミナー」を合わせて、運輸局大会議室において1月29日に開催しました。



セミナーは、自治体・観光関係団体等を対象として、管内4県から約60名の参加があり、関心の高さが伺えるものとなりました。



プログラムは、二部構成で進められ、第一部では、「地域観光マーケティングセミナー」として、講師にJR東日本観光開発課長の奥村聡子さんをお招きし、「着地型旅行商品の造成・販売お取り組みと課題」についてご講演を頂きました。

奥村さんは、JR東日本において、地域発の着地型旅行商品「旅市」の企画・販売を手がけられた経験を踏まえ、旅に対するニーズの変化に伴い、地域の風土、文化、暮らしなど、地元しか知らないものを人とのふれあいを含めた旅行商品とすることが重要とし、提案力、情報発信、また、持続可能な仕組みづくりが大切であると指摘をされていました。

第二部は、「ニューツーリズム地域セミナー」として、はじめに、南砺市城端観光協会の健名専務理事から「平成21年度実施の管内実証事業の解説」として、取組の概要を報告頂きました。

南砺市は、富山県南西部に位置し、飛騨・白川に隣接する地域で、魅力ある商品として「南砺里山発見伝」、「おかげさまの旅」などの商品を提案するとともに、名古屋地区において販売を行ったことや、アンケートの結果について報告いただくとともに、今後の展開についての問題点等について発表頂きました。



次に、「平成21年度実施の全国モニターツアーの概要」及び「ニューツーリズムの旅行商品化（及び体験プログラム化）と事業化例の解説」を㈱ツーリズム・マーケティング研究所の中根事業部長から報告を頂きました。

報告では、これまで実施したモニターツアーのその後の商品化の状況、また、商品化に向けた検討事項、旅行商品の告知・販売経路の進め方などについてアンケート結果を基に具体的に説明を頂くとともに、旅行商品の事例を基に、これから見える商品化のポイントについて解説を頂きました。

こうした講演等に対し、参加者からは、ツアー商品の契約際により具体的な内容やインバウンドに関しての商品の流通の方法など多くの質問が寄せられていました。

会場は、当局会議室のため若干狭く、参加者は窮屈な中で受講頂くことになりましたが、大勢の方からの参加により熱気溢れるセミナーとなり、各参加者からは、大変参考になったとのご意見を頂きました。

